

平成16年10月26日

各 位

会 社 名 森永製菓株式会社
 代表者名 代表取締役社長 森永 剛太
 コード番号 2 2 0 1
 上場取引所 東証(市場第1部)
 問合せ先 広報部長 橋本 守
 (T E L . 0 3 - 3 4 5 6 - 0 1 1 2)

業績予想修正に関するお知らせ

1. 平成16年9月中間期の業績予想修正

平成16年9月中間期(平成16年4月1日～平成16年9月30日)の業績予想について、平成16年5月25日の決算発表時に公表しました連結及び単独の業績予想を下記のとおり修正いたします。

①連結

(イ) 中間期の業績予想の修正(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

	単 位	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円	85,600	2,750	1,200
今 回 修 正 予 想 (B)	百万円	88,390	3,940	1,880
増 減 額 (B - A)	百万円	2,790	1,190	680
増 減 率	%	3.3	43.3	56.7
(ご参考)前同実績(平成15年9月中間期)	百万円	83,450	2,532	494

(ロ) 上記修正の理由

売上高は、主力ブランドへの選択と集中を進めた結果、食料品製造事業の主力品を中心に伸長し、前回予想を27億9千万円(3.3%)上回り88億3千万円となる見込みであります。

菓子部門の主力ブランドである「チョコボール」「ダース」「小枝」「ハイチュウ」及び新製品「ベルベット・ビター」などのチョコレートが好調に推移し、食品部門の「ウイダーinゼリー」も好調を持続し大幅に伸長しました。また、冷菓部門では主力の「チョコモナカジャンボ」が引き続き大幅増となり、「アイスボックス」も大きく伸長し、7月の猛暑の影響も加わって冷菓部門全体で大幅に伸長しました。

損益は、売上増に加え、販売促進費やマーケティング投資の効果的投入など主力品重視のマネジメント強化による収益面の改善とローコストオペレーションを推進した結果、経常利益は39億4千万円と前回予想を11億9千万円(43.3%)上回り、中間純利益も18億8千万円と前回予想を6億8千万円(56.7%)上回る見込みであります。

②単独

(イ) 中間期の業績予想の修正(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

	単 位	売 上 高	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円	73,000	2,050	1,100
今 回 修 正 予 想 (B)	百万円	75,415	3,010	1,513
増 減 額 (B - A)	百万円	2,415	960	413
増 減 率	%	3.3	46.8	37.5
(ご参考)前同実績(平成15年9月中間期)	百万円	71,532	1,949	430

(ロ) 上記修正の理由

上記連結で記載した内容と同理由により、売上高は前回予想を24億1千5百万円(3.3%)上回り75億4千5百万円となる見込であります。経常利益は30億1千万円と前回予想を9億6千万円(46.8%)上回り、中間純利益は15億1千3百万円と前回予想を4億1千3百万円(37.5%)上回る見込であります。

2. 通期の業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)につきましては、別途ご報告させていただきます。

以上